入院診療計画書

やわたメディカルセンター

様　入院日：　年　月　日　病棟：　号室　西暦　年　月　日

病名・症状：　パス名：PCI　担当医：　印　看護師：

担当看護師：　担当薬剤師：　担当栄養士：　西暦　年　月　日

総合的機能評価：　患者様・ご家族様サイン

期　間	No	未定	未定	未定	未定
経　過		検査日（検査前）	治療日（治療後）	治療翌日	退院日
看護計画	P	#1 非効果的行動計画リスク状態	#2 心臓組織循環減少リスク状態 #3 ヨード造影剤有害作用リスク状態 #4 出血リスク状態 #5 急性疼痛 #6 非効果的末梢組織循環 ＜大腿アプローチの場合＞ #7 静脈血栓塞栓リスク状態 #8 身体損傷リスク状態	#9 ヘルスリテラシー促進準備状態 #4 出血リスク状態 #6 非効果的末梢組織循環 ＜大腿アプローチの場合＞ #7 静脈血栓塞栓リスク状態 #8 身体損傷リスク状態	#9 ヘルスリテラシー促進準備状態
アウトカム	P	オリエンテーションが理解でき、不安なく検査が受けられる ※気がかりなことがありましたら遠慮なくお申し出ください	・出血や痛み、気分不快などがあればナースコールすることができる ・水分摂取の必要性がわかる ・安静度が守ることができる	・生活習慣の改善に取り組むことができる	・入院予定期間で退院できる
活動・安静度	P	・病院内自由です （症状によって制限されることもあります） 	【手首・肘の場合】 ・検査後1時間以内‥‥室内でお過ごしください ・検査後1時間‥‥病棟内をご自由に歩いても結構です ※手首の圧迫は、最初の2時間までは1時間毎に 少しずつ空気を抜いていきます ※肘の圧迫は、最初の2時間までは1時間毎に 少しずつ空気を抜いていきます ※空気を抜いていく途中で出血があれば空気の入れ直しをします ※検査した手首や肘は絶対に曲げたり物を持ったりしないでください 【大腿部の場合】 ・治療後から翌朝までベッド上で安静に過ごしていただきます ・帰室直後から6時間経つまでは 仰向けのままで足を動かすことができません ・寝返りは看護師が手伝いますので 自分でしないようにしてください ・6時間後からベッドを45度まで起こしたり少し膝を曲げることも可能です 寝返りが可能です ※検査の状態によって安静時間が変更となる場合があります ・検査後1時間‥‥空気を少し抜きます ※安静が保てない場合は 下肢を動かないように固定させていただくこともあります （別途、抑制同意書にて承諾をいただきます） ※使用したシースや手技により、安静時間が短くなることもあります	【手首と肘の場合】 ・看護師が固定帯を外します ☆穿刺部からの出血があった場合は 止血固定を延長する場合があります  【大腿部の場合】 ・朝食はベッドの挙上を60度まで可能です ・朝の診察時に、医師が圧迫止血帯を外します ☆止血帯が外れるまで座ったり、歩いたりできません ・安静終了後に病院内自由です （症状によって制限されることもあります）	・病院内自由です （症状によって制限されることもあります）
治療・処置	P	・カテーテルを入れる部位の毛剃り（大腿部からの場合）と マーキングを行います ・検査衣に着替えます ・指輪・時計・義歯などは外してください ・大腿部からの検査の時は 検査用パンツを着用してください ・点滴を行います ・深部静脈血栓予防のために両下肢に包帯を巻きます 	・血圧など症状の観察は帰室から3時間後までは必ずチェックします ・治療後に生理検査室で心電図検査を行います ・帰室後より心電図モニターを装着します ☆その後も適宜、観察していきますが 『胸が痛い』『胸がつらい』『息がしにくい』『気持ち悪い』などの 症状がありましたらすぐに教えてください	・朝、心電図検査があります その後心電図モニターを外します ・睡眠時無呼吸の簡易検査を行う事があります	
検査	P	・検査の時間は『午後　時ごろ』です ・1階の血管造影室で行います ・検査室には看護師と一緒に車椅子で移動します ※症状がある際はベッドで移動します。遠慮無くお申し出ください	・心電図モニターを装着します ・帰室直後、1時間後、2時間後、3時間後に血圧、体温を測ります ・カテーテルを入れた部位からの出血の有無を確認します	・12誘導心電図の検査をします ・医師の診察後に心電図モニターを外します	
リハビリ	P			心臓リハビリテーションを行います	心臓リハビリテーションを行います
説明・指導・栄養・服薬	P	・大腿部からの検査の方は、検査用パンツを購入ください （1階の売店で購入してください） ・服薬指導があります ・糖尿病薬を内服している方は中止する場合があります ・特別な栄養管理の必要性（有・無） ・10時40分より心臓病教室があります ・入院について、治療についての説明があります	・カテーテルを入れた部位からの出血や痛みが強くなった場合は 直ぐにお知らせください ・主治医より治療後に説明があります ☆退院後の生活、仕事などについて 不明なことがありましたら、ご確認ください ・主治医の結果説明後 再発予防のための生活習慣アンケートをご記入ください	・アンケートを参考にし 心臓病・動脈硬化について看護師より説明をいたします 	
食事	P	・朝食は食べることができます ・昼食は食べることができません ・水分は午前中であればご自由にお摂りください 	・水分は帰室後にすぐに摂ることができます 治療に『造影剤』を使用しています 体から早く出す為に水分は多く摂ってください  ・夕食は帰室後、1時間後に摂ることができます	【大腿部の場合】 ・圧迫止血帯が外れれば座って 食べることができます 	
排泄	P	・必要時または希望があればおしっこの管を入れる場合があります ※大腿部から治療を行う際は必要です	・トイレに行きたい時は 必ず看護師にお知らせください 	【大腿部の場合】 ・トイレで出来ます 	
清潔	P	・治療前までは入浴できます （症状、状態によっては入ることができません）	・治療後は入浴できません	・経過がよければ シャワー浴のみ可能です ・それ以降は入浴可能です 	
対症指示	P	・胸部痛・胸部不快がある場合はナースコールでお知らせください	・眠れないとき、痛みがあるとき、吐き気があるときは ナースコールでお知らせください		